

小児



コーナー

北病院
外来看護師
川口 美和子

B型肝炎ワクチンが 定期接種となります

(平成28年4月1日生まれ以降の方)

B型肝炎はB型肝炎ウイルスの感染による肝臓の病気です。

B型肝炎ウイルスは血液だけでなく、唾液・汗・涙などからも感染する、感染力が強いウイルスです。



乳幼児は大人に比べ、感染すると自然に治りにくいというえ、大きくなって慢性肝炎を起こし、肝硬変や肝がんを発症する可能性があります。早めにワクチン接種をすすめましょう。

●B型肝炎ワクチンが平成28年10月1日から、定期接種となります。

対象年齢 生後2か月～1歳誕生日前日まで

接種回数 3回接種

(1回目接種～3回目接種まで20週間空ける必要があるため、早めに計画し接種しましょう)

1歳を過ぎると全額自費となるため、ご注意ください。

※公費の対象とならない方も、年齢は問わず自費で接種することができます。